

薬剤師のかかりつけ機能強化研修

目指すアウトカム

地域医療の質向上（健康状態・満足度・経済性の改善）

※赤字は、かかりつけ機能
黒字は、具体的役割の例示

かかりつけ薬剤師・薬局機能の発揮

薬物療法の個別最適化

処方内容チェック
患者の状況に応じた服薬指導
副作用モニタリング・フィードバック
患者の生活像を踏まえた適切な処方医との連携
(服薬設計・処方提案)

多剤投薬の解消

AMR対策

薬物療法の連続性

入退院時の医療機関との連携
在宅医療を含めた継続的薬学的管理指導
終末期における薬学的管理指導

公衆衛生・災害対策

感染対策 災害時対応

健康生活の推進
セルフケア支援フレイル対策
認知症患者の支援
セルフケアの支援

他職種・他施設との連携

発揮するための資質向上カリキュラム

研修シラバス

I. 倫理・社会資源の活用

1. かかりつけ薬剤師の倫理 2. 患者安全 3. 医療・福祉の仕組み 4. カウンセリングスキル 5. エビデンスの創出

II. 医療薬学的知識と技能

1. 薬理学 2. 製剤学 3. 薬物動態学・薬力学 4. 小児、高齢者、妊婦・授乳婦 5. 検査値の把握 6. 薬学的観察・評価 7. 薬物療法の提案と実践 8. 副作用対策 9. ハイリスク薬 10. 生薬・漢方薬 11. 感染対策 12. 栄養管理 13. セルフケア支援 14. 文献評価、医薬品情報の活用 15. 統計データの理解と活用 16. 薬学的知見に基づく記録

III. 疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能

1. 循環器系 2. 消化器系 3. 内分泌系 4. 泌尿器系 5. 生殖器系 6. 呼吸器系 7. 精神・神経系 8. 皮膚・感覚器系 9. 骨格・筋肉系 10. 免疫系 11. 悪性腫瘍 12. 感染症